



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年8月1日

上場会社名 株式会社セキド 上場取引所 東  
 コード番号 9878 URL <http://www.sekido.com/ir/index.php>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関戸 正実  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 弓削 英昭 TEL 03-6300-6335  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第1四半期の業績 (2025年3月21日～2025年6月20日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,367	—	△120	—	△136	—	△142	—
2025年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△69.91	—
2025年3月期第1四半期	—	—

(注) 2025年3月期第4四半期より非連結決算に移行したため、2026年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率及び2025年3月期第1四半期の数値については記載していません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	4,749	205	4.2
2025年3月期	4,769	233	4.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 201百万円 2025年3月期 230百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の業績予想 (2025年3月21日～2026年3月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	3,440	△14.5	△55	—	△83	—	△93	—	△45.52
通期	7,630	1.8	80	—	24	—	4	—	1.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	2,212,928株	2025年3月期	2,040,928株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	3,606株	2025年3月期	3,586株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	2,039,248株	2025年3月期1Q	2,037,355株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(会計方針の変更に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間における当社の経営成績の概況は次のとおりであります。なお、当社は、前事業年度第4四半期会計期間より非連結決算に移行したため、前年同期比較は記載しておりません。

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、長引く国際紛争や物価高騰など、個人消費や企業業績への影響が懸念される状況が続いております。

このような環境下、当社は、主力事業のファッション事業と美容事業による成長戦略に取り組んでおります。

ファッション事業（店舗運営事業）においては、「GINZA LoveLove」店舗で自社アプリやSNS等を利用し、WEBチラシによる会員様への購買促進を強化しております。また、購買履歴データをAI解析し会員様に適正な価格帯での「新商品のご案内」「セール情報」など、週30本以上のプッシュ通知を実施し、既存会員様のリピート率向上に努めております。

「&choa!」店舗においては、認知度の向上を図るとともにwebサイトへの誘導を目的に店外催事を定期的に行っております。

通販部門では、世界114カ国・地域への販売が可能な「Buyee Connect」を導入し、越境ECを開始いたしました。さらに、インフルエンサー施策やソーシャルギフト機能の導入も検討し、グローバルな販路拡大とブランド認知度の向上を図り、売上・利益の成長を目指してまいります。

美容事業においては、前事業年度で日本総代理店を終了した「MEDIHEAL」に替わり、2023年に日本総代理店となった美顔器シリーズで韓国シェアNO.1ブランド「medicube（メディキューブ）」の国内オフラインでの展開を強化し、4月には待望の1万円（税抜）の新商品も投入しております。また、今年に入って、相次いで日本総代理店となった、韓国で大人の女性に人気のラグジュアリーコスメブランド「KAHI（カヒ）」、ヴィーガンコスメブランド「athé（アッテ）」並びにスキンケアブランド「MEDIPEEL（メディピール）」の3つの韓国コスメブランドの取扱いも本格的に開始したところでございます。なお、2025年5月23日付「第三者割当により発行される第15回乃至第17回新株予約権（行使価額修正条項及び行使停止条項付）の発行及び新株予約権の第三者割当契約の締結に関するお知らせ」で開示したとおり、美容事業の増加運転資金と設備投資資金を調達するとともに、財務面でも前事業年度の当期純損失の計上で減少した純資産の回復に努め、2025年7月31日時点で754百万円を調達しております。詳細は、8ページ（重要な後発事象）をご覧ください。

これらの結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高は1,367百万円、総額表示による売上高は1,552百万円となりました。一方、利益面では、予定どおりではありませんが、まだまだ、売上高が不足している影響で、営業損失は120百万円、経常損失は136百万円、四半期純損失は142百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### [ファッション事業]

ファッション事業においては、韓国コスメのセレクトショップ『&choa!』を1店舗出店し、輸入ブランド専門店『GINZA LoveLove』11店舗、『&choa!』18店舗の全29店舗体制となりました。『GINZA LoveLove』では、引続きAIを使った顧客データ解析による再来店促進施策の精度を高めるとともに、『&choa!』の販促施策としても活用し、リピーターの増加につなげてまいりました。

これらの結果、売上高は865百万円（総額表示による売上高は1,055百万円）となりましたが、利益面では、商品価格高騰による個人消費への影響もあり、セグメント損失は28百万円となりました。

#### [美容事業]

美容事業においては、「MEDIHEAL」の消化と新規ブランドの導入に注力しております。価格戦略で競争力をつけている美顔器シリーズで韓国シェアNO.1ブランド「medicube（メディキューブ）」が牽引しており、『KAHI（カヒ）』、『athé（アッテ）』並びに『MEDIPEEL（メディピール）』の取扱い量も徐々に増えてまいりました。

これらの結果、売上高は439百万円、セグメント損失は17百万円となりました。

#### [貸貸部門]

貸貸部門では、売上高は8百万円、セグメント利益は7百万円となりました。

#### [その他]

その他の部門では、売上高は53百万円、セグメント利益は5百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産は、総資産は4,749百万円となり、前事業年度末に比べ19百万円減少いたしました。

流動資産は3,523百万円となり、前事業年度末に比べ28百万円減少いたしました。これは主に、新規ブランドの導入などにより商品が22百万円増加しましたが、売掛金が35百万円減少したことなどによります。

固定資産は1,226百万円となり、前事業年度末に比べ8百万円増加いたしました。これは主に、新規店舗の出店などにより有形固定資産が19百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は4,544百万円となり、前事業年度末に比べ8百万円増加いたしました。

流動負債は3,642百万円となり、前事業年度末に比べ57百万円増加いたしました。これは主に、新規ブランドの展開に備えるため、1年内返済予定の長期借入金を含め、短期借入金が47百万円増加したことによるものであります。

固定負債は902百万円となり、前事業年度末に比べ49百万円減少いたしました。これは主に、約定返済により長期借入金が24百万円、償還により社債が20百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は205百万円となり、前事業年度末に比べ28百万円減少いたしました。これは主に、新株予約権の行使による資本金60百万円、資本剰余金60百万円の増加はありましたが、四半期純損失142百万円を計上したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は4.2%（前事業年度末は4.8%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月7日に「2025年3月期決算短信」において公表いたしました第2四半期累計及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月20日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	504,166	468,611
売掛金	515,151	479,376
商品	2,274,581	2,296,710
預け金	129,168	104,828
その他	144,699	189,561
貸倒引当金	△15,798	△15,653
流動資産合計	3,551,968	3,523,434
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	195,781	207,098
工具、器具及び備品（純額）	63,077	71,279
土地	429,273	429,273
リース資産（純額）	2,778	2,546
有形固定資産合計	690,909	710,197
無形固定資産		
ソフトウェア	14,486	12,693
無形固定資産合計	14,486	12,693
投資その他の資産		
投資有価証券	124,088	116,146
関係会社株式	15,000	15,000
差入保証金	350,766	350,765
その他	22,355	21,460
投資その他の資産合計	512,211	503,372
固定資産合計	1,217,607	1,226,263
資産合計	4,769,575	4,749,698

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月20日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	489,467	523,293
短期借入金	2,390,637	2,453,300
1年内償還予定の社債	70,000	70,000
1年内返済予定の長期借入金	133,228	118,562
リース債務	2,797	2,264
未払金	198,679	159,725
未払法人税等	19,300	4,970
預り金	223,297	203,453
契約負債	15,957	34,250
その他	41,155	72,576
流動負債合計	3,584,519	3,642,395
固定負債		
社債	185,000	165,000
長期借入金	321,103	296,959
リース債務	3,892	3,388
繰延税金負債	20,295	19,970
退職給付引当金	90,116	86,263
役員退職慰労引当金	109,800	109,800
資産除去債務	139,152	142,557
長期預り保証金	29,980	29,980
長期未払金	52,309	48,207
固定負債合計	951,649	902,127
負債合計	4,536,169	4,544,523
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	70,305
資本剰余金	504,378	564,684
利益剰余金	△349,284	△492,111
自己株式	△5,060	△5,074
株主資本合計	160,033	137,803
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	70,334	63,845
評価・換算差額等合計	70,334	63,845
新株予約権	3,037	3,525
純資産合計	233,406	205,174
負債純資産合計	4,769,575	4,749,698

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2025年3月21日 至 2025年6月20日)
売上高	1,367,957
売上原価	990,075
売上総利益	377,881
販売費及び一般管理費	498,645
営業損失(△)	△120,764
営業外収益	
受取利息	90
受取配当金	888
その他	215
営業外収益合計	1,194
営業外費用	
支払利息	12,269
社債利息	442
新株予約権発行費	1,230
その他	2,578
営業外費用合計	16,520
経常損失(△)	△136,090
税引前四半期純損失(△)	△136,090
法人税、住民税及び事業税	5,608
法人税等調整額	1,128
法人税等合計	6,736
四半期純損失(△)	△142,827

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号2022年10月28日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しております。

なお、当該会計方針の変更による四半期財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当第1四半期累計期間(自2025年3月21日 至2025年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計
	ファッション	美容	賃貸部門	計			
売上高							
顧客との契約から生じる収益	865,316	439,909	—	1,305,226	53,880	—	1,359,107
その他の収益	—	—	8,850	8,850	—	—	8,850
外部顧客への売上高	865,316	439,909	8,850	1,314,076	53,880	—	1,367,957
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	865,316	439,909	8,850	1,314,076	53,880	—	1,367,957
セグメント利益又は損失 (△)	△28,267	△17,140	7,676	△37,730	5,137	△103,496	△136,090

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外商部門等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△103,496千円は、報告セグメントに帰属しない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の経常損失としております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第1四半期会計期間において、第三者割当による新株予約権の権利行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ60,305千円増加しました。

この結果、当第1四半期会計期間末において資本金が70,305千円、資本剰余金が564,684千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

当第1四半期累計期間  
(自 2025年3月21日  
至 2025年6月20日)

減価償却費

11,391千円

(重要な後発事象)

(第15回新株予約権の行使)

当社が2025年6月9日に発行した、EVO FUNDを割当先とする第15回新株予約権（以下「本新株予約権」といいます。）の2025年6月21日から8月1日までの期間において大量行使しております。内容は、以下のとおりであります。第15回新株予約権の行使は、2025年6月23日付ですべて完了しております。

1. 銘柄名	株式会社セキド 第15回新株予約権
2. 2025年6月21日からの交付株式数	328,000株
3. 2025年6月21日から行使された新株予約権の数及び新株予約権の発行総数に対する行使比率	3,280個 (発行総数5,000個に対する割合：65.60%)
4. 2025年6月21日時点における未行使新株予約権数	3,280個 (328,000株)
5. 2025年8月1日時点における未行使新株予約権数	0個 (0株)

※発行総数に対する割合は、小数点第3位を四捨五入しております。

6. 2025年6月21日からの行使状況

行使日	交付株式数		行使価額 (円)	行使された 新株予約権の個数 (個)
	新株 (株)	移転自己株 式 (株)		
2025年6月23日 (月)	328,000	—	328,000	3,280

(第16回新株予約権の行使)

当社が2025年6月9日に発行した、EVO FUNDを割当先とする第16回新株予約権（以下「本新株予約権」といいます。）の2025年6月21日から8月1日までの期間において大量行使しております。内容は、以下のとおりであります。第16回新株予約権の行使は、2025年7月3日付ですべて完了しております。

1. 銘柄名	株式会社セキド 第16回新株予約権
2. 2025年6月21日からの交付株式数	200,000株
3. 2025年6月21日から行使された新株予約権の数及び新株予約権の発行総数に対する行使比率	2,000個 (発行総数 2,000個に対する割合：100.00%)
4. 2025年6月21日時点における未行使新株予約権数	2,000個 (200,000株)
5. 2025年8月1日時点における未行使新株予約権数	0個 (0株)

※発行総数に対する割合は、小数点第3位を四捨五入しております。

6. 2025年6月21日からの行使状況

行使日	交付株式数		行使価額 (円)	行使された 新株予約権の個数 (個)
	新株 (株)	移転自己株 式 (株)		
2025年6月27日 (金)	50,000	—	1,192	500
2025年6月30日 (月)	50,000	—	1,192	500
2025年7月3日 (木)	100,000	—	1,055	1,000

(第17回新株予約権の行使)

当社が2025年6月9日に発行した、EVO FUNDを割当先とする第17回新株予約権（以下「本新株予約権」といいます。）の2025年6月21日から7月31日までの期間において大量行使しております。内容は、以下のとおりであります。

1.	銘柄名	株式会社セキド 第17回新株予約権
2.	2025年6月21日からの交付株式数	155,000株
3.	2025年6月21日から行使された新株予約権の数及び新株予約権の発行総数に対する行使比率	1,550個 (発行総数 2,000個に対する割合 : 77.50%)
4.	2025年6月21日時点における未行使新株予約権数	2,000個 (200,000株)
5.	2025年8月1日時点における未行使新株予約権数	450個 (45,000株)

※発行総数に対する割合は、小数点第3位を四捨五入しております。

6. 2025年6月21日からの行使状況

行使日	交付株式数		行使価額 (円)	行使された 新株予約権の個数 (個)
	新株 (株)	移転自己株 式 (株)		
2025年7月9日 (月)	29,000	—	1,320	290
2025年7月25日 (金)	21,000	—	973	210
2025年7月29日 (火)	11,000	—	908	110
2025年7月30日 (水)	24,000	—	908	240
2025年7月31日 (木)	70,000	—	908	700